

広報

えりも

2014

4月号

№.905

Public Relations Erimo



思い出が詰まった^{まな}学び舎^やを えりも高校卒業式

3月1日、えりも高校（岡戸康浩校長）で、第25回卒業式が行われ、両親や来賓、教師、在校生が見守る中、卒業生37人（男子19人、女子18人）一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

式の答辞では、卒業生代表の芳賀智子さんが両親や教師へ感謝の言葉を述べた後、在校生に向

かって「後悔しないように勉強すること、たくさん遊ぶこと、高校生としての思い出をたくさん作ってください。高校生でいられる時間は、人生でたった3年です。その中で、自分の夢を見つけ、経験を積み、何事にも挑戦し、前進してほしいと思います」とエールを送りました。

交通事故死ゼロ

3000日を目指して

町民一丸となって取り組もう

3月3日「第44回えりも町交通安全住民大会」が福祉センターで開催され、交通安全協会の関係者、町民150人が参加しました。

この大会は、交通事故のないえりも町を目指して、毎年開かれており、大会を

通じて交通安全への意識を再認識しました。

大会は、交通事故犠牲者への黙とうから始まり、続いて挨拶した町交通安全運動推進委員会会長の岩本博叙町長は、「昨年8月13日に達成した交通事故死ゼロ2500日に500日上積みした3000日達成を目指して、町民一丸となつて取り組んでいきたい」と決意を述べました。



交通安全功労者として、菊地竹勇さんを表彰

浦河警察署の鈴木耐署長の祝辞では「交通事故抑止7大対策を守り、安心安全なまち・気持ちよく過ごせるまちえりも町にしましょう。また、本町の国道で

悲惨な交通事故が起こる前に、違法駐車はやめましょう」と参加者へ呼びかけました。

今年の町交通安全功労者表彰には、菊地竹勇さん（大和）が、日頃から各種交通安全活動を積極的に実践され交通事故撲滅に多大に貢献されたことなどの功績により選ばれ、地区別交通安全無事故実践大会はえりも岬地区が1位になりました。

小・中学校、高校の児童生徒による交通安全作文コンクールは、小学生5年生の部で鎌田愛美さん（岬小5年）、小学生6年生の部で木村めいさん（えり小6年）、高校生の部で児玉皓さん（えり高3年）が特選に輝き、会場で作文を発表しました。

また、地域安全寸劇では、浦河警察署の署員による「振り込め詐欺防止」が行われました。

新成人を代表して天野瑠利さんが壇上に立ち、大会宣言を読み上げ、交通事故

根絶に向けた決意を会場へ呼びかけました。

閉会の挨拶で、町交通安全協会の佐藤勝会長は「作文の選考にあたって感じたことは、子どもたちが交通事故の怖さ・交通安全に対する知識と意識をしっかりともっていることを感じる事ができました。交通事故死ゼロ3000日を目指し、同協会として、町民へ交通安全に対する認識と意識を持つてもらおうよう最低限の努力をしてきたい」と決意を述べました。

年額500円で3万円からの見舞金

交通災害共済

お申込みは、各自治会の班長さんに取りまとめの協力をいただいています。

直接申込みをする場合は、役場町民生活課（☎2-4621）までお越しください。



交通安全作文コンクール特選に輝いた鎌田さん（岬小5年）、木村さん（えり小6年）、児玉さん（えり高3年）（写真左から）



大会宣言を読み上げた、新成人代表の天野瑠利さん

新築・改修工事等助成事業が改正になりました

昨年に引き続き、住宅の新築や改修工事を行う方に対して工事費用の一部を助成する「住宅改修工事等助成事業」を4月から始めます。

この事業によって、住環境の整備を促進するとともに、建設産業の振興と雇用の安定を図ることを目的としています。

条例の一部が変更になり、対象期間及び助成金額が変わりました。

●対象期間

毎年度 4月1日から翌年3月31日の間に着工し竣工できるもの

●助成金の金額が変更になります

改修工事等の工事金額の5割を補助します（千円未満切捨て）。

ただし、50万円を上限とし**10万円**に満たない場合は**10万円**とします。

●助成対象となる方

次の条件にすべて当てはまる方が対象となります。

- ・えりも町に住所を有する方
- ・改修工事を行う住宅の所有者であり、かつ当該住宅に現に居住する方又は居住しようとする方
- ・町税を滞納していない方

●助成対象となる条件

次の条件にすべて当てはまる方が対象となります。

- ・併用住宅の場合は、居住部分のみが対象となります
- ・町内建設業者（町内に本社を有し、建設業を営むもの又は建設工事を業として行っている個人事業主）が自ら行う改修工事

- ・改修工事等に要する費用が**100万円以上**（消費税込）のもの

●対象となる工事

新築、増築、改築、修繕及び模様替えなど。建築設備工事も対象。

●対象とならない工事

- ①設計費・敷地整備費・外構工事費（通路、舗装、植栽、庭園、塀、車庫、フェンス、物置等）、床、壁、天井のいずれにも固定されない備品（後付照明器具、据え置きコンロ、ストーブ（FFストーブ含む）、家具等）及びカーテン、ブラインド、置き敷きじゅうたん等の購入又は設置に要した費用。
- ②住宅と当該住宅以外の部分を合わせた改修工事等は、当該住宅以外の部分の工事に要した額
- ③他の制度・公的資金による補助金及び貸付金（**すまい給付金制度は除く**）

※本助成事業は、同一住宅について1回限りです。

●お問い合わせ先

役場建設水道課建築管財係
☎2-2114



<水道料金>

5月分以降（新料金）消費税8割含む

用途	1か月の料金（基本+超過）		
	使用水量	基本料金	超過（1m）料金
家庭用	10m ³ まで	2,160円	270円
営業用	15m ³ まで	4,860円	324円
団体用	15m ³ まで	4,104円	270円
臨時用	10m ³ まで	6,300円	648円
休 栓		432円	

<下水道料金>

5月分以降（新料金）消費税8割含む

用途	1か月の料金（基本+超過）		
	使用水量	基本料金	超過（1m）料金
一般用	10m ³ まで	1,836円	183円50銭

※算出額から10円未満の端数は切り捨て

**5月分から消費税増税に伴い
水道・下水道料金が値上げとなります**

町では、平成26年4月1日から、消費税率が5割から8割に改正されたことに伴い、5月分から水道・下水道料金が値上げとなりましたので、お知らせします。

このたびの値上げは、消費税増税に伴うもので、みなさんのご理解をお願いいたします。

ご不明な点がありましたら、左記の担当課までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
役場建設水道課水道係・下水道係
☎2-2115



町職員の人事異動

4月1日付けで、町職員の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

■係の新設・廃止等

- ◎総務課に「車両安全係」を新設します。
- ◎建設水道課上下水道係を「水道係」と「下水道係」に分離します。
- ◎学校教育課の「車両係」を廃止します。
- ◎社会教育課の「文化財係」を廃止し、「郷土資料館文化財係」を新設します。

■町職員人事異動

《総務課》

▽大西俊紀～車両安全係長兼行財政改革推進室行革担当

《企画課》

▽工藤将斗～振興係兼防災係▽荒井傑～防災係兼広報係▽増田仁～広報係長

《税務課》

▽斉藤昌文～課長兼会計管理者兼出納室長▽横嶋賢二～課税係長▽竹重寛～課税係▽鍵谷尊徳～納税係

《町民生活課》

▽吉田元喜～課長兼保育所管理者

▽川村幸哉～環境生活係長▽木村実～戸籍係長

《保育所》

▽山本彩香～中央保育所▽堤なつ美～えりも岬保育所▽大森朱美～庶野保育所▽沼館玲奈～庶野保育所

《保健福祉課》

▽明神孝幸～医療給付係兼保健予防係▽中野知子

～保健指導係長▽清水海斗～保健指導係兼保健予防係兼地域包括支援センター介護支援係▽大久保奈々～保健予防係長▽加藤千景～保健予防係兼保健指導係兼地域包括支援センター介護支援係

《出納室》

▽宝金郁子～出納係長

《産業振興課》

▽石川慎也～課長兼風の館館長▽上島正人～課長補佐兼風の館管理係長兼農業委員会事務局長▽東海林裕樹～水産係長▽運上英幸～商工観光係長▽澤田隼行～商工観光係▽脇坂久也～林務係兼農産係兼農業委員会庶務係兼農地係

《建設水道課》

▽幾田健一～専門技師兼下水道係長▽鈴木崇晃～水道係長▽山本香奈枝～水道係兼下水道係▽渡部大純～水道係兼下水道係

《国保診療所》

▽中山哲郎～副所長

《議会事務局》

▽中川真紀～議事係長

《学校教育課》

▽今野章～課長▽橋本信夫～学校管理係長

《社会教育課》

▽武田健太郎～社会教育係長▽大石侑～社会教育係▽幌岩崇史～体育振興係長

《郷土資料館》

▽中岡利泰～館長兼文化財係長

《えりも高校》

▽小林弘二～事務長

《再任用職員》

▽川崎茂～出納室出納係

■退職者（3月31日付）

▽三戸充（産業振興課長）▽高坂一步（産業振興課栽培漁業係）▽橋本百合香（えりも岬保育所）



第7分団に配備された積載車

揚水作業が可能となりました。積載車は、目黒地区の町消防団第7分団（石岡敏幸分団長）に配備されました。

地区住民の安心・安全のために

2月28日、日高東部消防組合えりも支署（高橋康慶支署長）に、小型動力ポンプ付積載車が納車されました。
この積載車は、購入費用1239万円で、排気量3000cc、ディーゼル、4WDのマニユアル車で、特徴は荷台部分を鋼板による箱型、後部中央に小型ポンプを配置、吸管を荷台部分に取付け、従来より2倍長い8呎式を装備、少人数でも

3月定例町議会

3月定例町議会が、3月5日に召集され、14日までの10日間にわたって開会されました。

初日は町長と教育長からの執行方針、13日からは条例の改正、新年度予算などの審議が行われました。

詳細は、後日発行される「議会だより」に掲載されます。

■町政執行方針

たくましく活力あるまちづくり

◆水産業の振興

漁業を取り巻く環境は、秋サケの地域間格差や昆布の全道的な減産、T P P対策など様々な諸問題が山積しており、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、本町の主要産業である昆布漁業の更なる安定を図るため、昨年に引き続き漁場造成を進め、昆布資源の生産拡大に努めるとともに、昆布輸入割当・I Q制度の堅持についても、価格の観点から関係機関と連携を図り、強く求めていきます。

えりも栽培センターでは、本年度より日高管内の放流数を5万尾増やした40万尾を放流する計画で、6月



昨年、岬漁港で行われたマツカワの放流

下旬に伊達センターよりマツカワ稚魚45万尾を搬入し、中間育成を開始する予定です。

種苗生産では、魚族資源の増大を目的として、昨年と同様にハタハタ・クロソイ・マガレイについて実施します。また、エゾボラ(マツブ)

についても昨年と同様に、飼育試験を行いながら、産卵・交尾等の時期の解明を図り、種苗生産の確立を図ります。

なお、ナマコは、本町における種苗生産や中間育成の技術確立と放流効果について取り組んでいきます。

また、庶野地区より要望がありましたエゾバイ(豆ツブ)も、陸上での飼育試験を行い、種苗生産の確立を目指して取り組んでいきます。

庶野漁港は、防災対策を施した漁港整備として人工地盤と衛生管理を目的とした屋根付き岸壁を2年計画で整備する予定です。

◆農業の振興

農業・農村をめぐる情勢は、景気の低迷や震災の爪痕がいまだに暮らしや経済に影響をもたらす中、T P P交渉は、参加国が目指した25年中の「年内妥結」に至らなかったわけですが、交渉結果によって、本道農業、地域経済に大きな影響を及ぼすことが強く懸念されることから、依然として予断を許さない状況です。

昨年のホクレン南北北海道家畜市場では、本町で生産された肉牛603頭が2億8894万円の販売実績となり、前年比約14.1%増で、1頭当たりの平均価格は47万9000円と前年比19.4%増での取引となつ

ています。

なお、昨年に引き続き、町内の肉用牛の生産振興と農家経営の安定を図るため、優良繁殖後継牛保留奨励事業や受精卵活用優良繁殖増殖事業を継続し、自給飼料の確保の目的に草地化している町有牧野の肥培管理と、新たに草地畜産基盤整備事業を導入し、良質の粗飼料を生産する考えがあります。

◆林業の振興

林業では、国は森林・林業の再生と木材需給率50%達成を目標として「森林・林業基本計画」を策定し、その実現のための森林経営計画制度をはじめとする諸施設が実施に移され、その成果に大きな期待が寄せられています。

町内の森林資源の適切な整備及び保全を引き続き図っていききたいと考えています。

緑化事業では、春は桜岡・上歌別牧野で「えりもワクワク森林づくり事業」の植樹を行い、秋にはえりも岬国有林内で「えりもイキイキ森林づくり事業」の針葉樹から広葉樹への転換を図るべき、保育事業を行い、いずれの事業も町民の参加・協力を得ながら進めていきたいと考えています。

さらには、中高一貫教育の中で

「えりも百人浜に学ぶ」と題し、高南部森林管理署の指導のもと、ひだか南森林組合の協力を得て、生徒に緑化事業の体験をおして、森林の大切さを学んでいただきたいと考えています。

森林基幹道「えりも線」は、昨年に引き続き、十三間橋の架け替えを行い、橋梁が完成する予定です。

鹿の駆除では、有害捕獲を行い、生息数の減少に各町連携のもと、より一層の努力をします。

健康でいきいきと暮らせるまちづくり

◆保健予防活動

本年度は、新たに脳ドック事業を開始し、産業団体毎に実施している健診は、可能な限り情報を共有し、生活習慣病やこれに起因する疾病の予防推進を図るため、健診結果を踏まえた保健師や管理栄養士による、適切な保健指導や栄養指導を実施していきます。

感染症予防対策では、保健センターで実施している定期の予防接種事業は、実施回数を昨年度よりも増加させ、接種機会確保の充実を図っていきます。

歯科対策事業については、小学校及び保育所で実施しているフッ化物

洗口、春季・秋季の年2回実施している幼児から高校生までを対象とした歯科健診を継続し、虫歯予防対策の取り組みを推進していきます。

◆高齢者への福祉支援

本町の高齢化率は26.6割で、日高管内の平均値である29.1割を大きく下回ってはいますが、平成24年度よりも1.1ポイント増加し、後年度以降も上昇が予想されることから、保健師の家庭訪問活動を中心に、民生委員や地域住民の方々との連携を図り、高齢者世帯や独居の高齢者の方が抱える、孤独や孤立をはじめとする問題の解消や悩みごとの相談の取り組みを実施していきます。

また、各地区において自主的な活動をされている老人クラブや、その集合体である老人クラブ連合会についても、支援を継続していきます。

◆障がい者への福祉支援

誰もが暮らしやすい社会を実現するため、障がいのある方は必要な福祉サービスを受けながら、自立した日常生活や社会参加のできる環境が必要で、こうした中、障がい者相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所と連携を図り、障がいのある方やその保護者の方などのニーズに沿った、支援やサービス等の提供に取り組んでいきます。

◆国民健康保険事業

本町の国民健康保険には、町民のおおよそ半分が加入しています。医療費については、ここ数年は減少傾向にありますが、医療保険財政は依然として厳しい状況が続いていることから、安定的かつ健全な運営のため、医療費の適正化について関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていきます。

なお、平成26年4月1日以降に70歳になる方は、医療費の軽減特例措置の対象外となり、医療機関での窓口負担が1割から2割となることから、制度の変更の周知に努めていきます。

◆介護保険事業

介護保険事業では、介護保険計画に基づきサービスの利用状況の把握と、適正な給付に努めていますが、今後は予防重視型システムへの転換が図られ、運動だけではなく認知症の予防に繋がる介護予防教室の開催に向けて、関係機関と協議しながら取り組みを進めていきます。

なお、現在の高齢者福祉計画・介護保険事業計画は本年度をもって満了となるため、平成27年度から平成29年度までの第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を実施します。

◆診療所の運営

3月末で更新期限が終了する渡邊・高瀬両医師については、引き続き本年度もえりも町の医療に携わっていただきます。また、4月1日からは新たに小児科を開設し、本年度は内科・外科・小児科の3診体制でえりも町の地域医療を押し進めていきます。

近年の医療を取り巻く環境は、国の診療報酬改定では0.1割の微増とはなりましたが、消費税率の引上げにより、実質1.26割のマイナスとなり、益々厳しい状況に置かれることが予想され、医業収益は大変厳しい状況となっておりますが、経費の節減と運営の健全化に努め、地域医



4月から、医師3人体制となる町立診療所

療の向上を図っていきます。

その中で、本年度からは小児科を開設し新たな体制でスタートしますが、医療の基本である、町民の命と健康を守ることを主眼に置き、一次医療や急性期医療に対応した診療体制の継続を図っていきます。

また、在宅訪問看護や目黒出張診療、さらには関係機関と連携して公衆衛生予防医療や乳幼児予防接種を積極的に推進し、疾病の早期発見、早期治療など、安心した医療を受けられる環境の整備に努めます。

◆簡素な給付措置

政府は平成26年度消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な給付措置を行うこととしました。

町としては、国の動向を注視しながら、可能な限り早期に給付が開始できるように準備を進めていきます。

安心・安全なまちづくり

◆交通安全運動の推進

平成18年10月10日から「交通事故死ゼロの日」を継続中であり、昨年8月13日に25000日を達成し、来たる12月26日の30000日を目指し

ています。

本年も、浦河警察署をはじめ関係機関・団体等、多くの町民の皆様と一体となつて、引き続き交通事故死ゼロに向けて交通安全運動の啓発に努めますので、地域における交通安全運動へ一層のご尽力をいただきますようお願いいたします。

◆防災・減災対策

全国的に豪雨や台風などによる自然災害が多発しています。さらに、本町は道内でも最大級の津波の来襲が想定されている地域であり、行政の責務として東日本大震災の教訓を踏まえ、適切に防災対策を進めていきます。

年次計画で行っている毛布や食糧



近浦団地高台プレハブに設置された備蓄品

など災害用備蓄資材等の避難所への設置は、施設の規模に応じた暖房器具や発電機の配備も行い、避難所機能の向上を図ります。

また、津波が起こった場合に自力での避難が難しい方々への対応等について取り組みを進め、地域防災力の強化に努めます。

◆建設土木関係事業

町道の整備事業は、昨年に引き続き社会資本整備総合交付金事業として「新浜団地1号線」の改良舗装工事を実施するとともに、町単独改良舗装工事を実施します。

町単独の土木事業は、「地区別町政懇談会」などにおける要望を踏まえながら、事業の緊急性と将来的な維持補修等を考慮し、住民生活の安全性かつ利便性向上のために、計画的に整備を進めていきます。

えりも港の整備は、「長期港湾整備計画」に基づき、既存施設の南外防波堤の嵩上げ改良等、港湾機能の拡充と整備を進めていきます。

また、一般国道336号「襟広防災事業」の早期完成をはじめ、越波防止対策の継続と国道の更なる安心安全の確保、そのほか急傾斜地事業、一般海岸保全事業等の懸案事項につきましても、早期に実施するよう、引き続き関係機関に要望してい

きます。

◆水道事業

水道は、住民の健康で快適な生活や地域活動、経済活動を支える重要なライフラインです。

安心で安全な水道水を安定して供給するため、日々の施設点検整備、情報管理などに努めるとともに、老朽化が進む施設の維持管理を徹底します。また、将来必要となる全面改修を見据えつつ、必要最小限の修繕等を行いながら、現有施設を少しでも長く使用するための措置を講じていきます。

本年度は、東部簡易水道で導水管の更新工事を約200戸実施し、西部簡易水道の送・配水管更新工事を実施するほか、新浜地区でも配水管の更新工事を行います。

町内全域で検満メーターの更新工事も継続して実施いたします。

◆下水道事業

下水道事業は、全体計画面積152.7畝のうち、113.8畝の整備を終えており、平成14年度から一部供用を開始して以降、その主な役割であるトイレの水洗化、生活排水の浄化及び公共水域の水質保全などに寄与しながら、快適な生活環境の改善を図っています。

現在の下水道の接続状況は、全対



今年2月に完成した大和C団地2号棟

象戸数1232戸の68.1割に当たる839戸が接続を完了していましたが、今後も接続の推進を重点課題として、事業効果の拡充を図っていきます。

◆住環境の整備

住環境の整備は、町にとって大きな課題のひとつです。

その中の住宅対策では、公営住宅は、長期的な視点及び予防的な観点から平成22年度に策定された「えりも町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、本年度も平成25年度の補正予算で大和C団地公営住宅1棟8戸の建て替えを実施するとともに、既設の公営住宅についても、修繕工事等を計画的に進め良質な住宅の提供に

努めます。

個人住宅につきましては、平成24年度より実施の「住宅改修等助成事業」について、一部助成額の変更はありますが、引き続き実施し、支援を行っていきます。

みんなで歩む協働のまちづくり

◆効率的な行財政の運営

基幹産業の一つである漁業について、昨年は、秋サケ定置網漁は町全体として漁獲量・金額ともに前年を上回る実績となりました。しかし、太宗をなす昆布漁については、地区的にばらつきはあるものの、凶漁により生産高・金額ともに、前年を大幅に下回る見込みで、本町の自主財源となる住民税等にも大きな影響があるものと危惧しています。

平成26年度予算は、一般会計において43億3000万円と、前年度当初と比較して2億7000万円、6.7割増の予算編成となりました。特別会計を加えた合計でも65億2000万円で対前年比3億9000万円、6.4割増です。

この増加の要因は、消防デジタル無線整備事業や臨時福祉給付金、えりも岬小学校暖房機更新工事を含めた公共施設の維持補修工事などによるものです。

予算編成にあたっては、国のリーマンショック後の危機対応モードから平時モードへの切替えも進められるところですが、地方交付税は前年度と同額を見込むこととしました。

しかし、町税をはじめとする自主財源の伸びは本年度についても難しいことから、行政サービス水準を維持しつつ、細部にわたり事務事業の見直しによる経常経費を可能な限り抑制するなど、財政基盤の確立を図り、財政の健全化に最大限の努力をします。

本年度も厳しい財政環境の下で、

■教育行政執行方針

学校教育の推進

◆学校教育推進の基本姿勢

学校教育は、いつの時代にあっても、「知・徳・体の調和の取れた教育」を推進して行かなければいけません。どんなに時代が変わろうとも、「教育の不易と流行」をしつかりと見据え、その時々々の教育課題に取り組むことが重要です。

このことを常に念頭に置き、本年度は、学校経営の基盤として、教育課程、生徒指導、サービス・勤務、健康

山積する喫緊の課題に取り組んでいくよう、簡素で効率的な行財政運営に努めていきますので、引き続き町民みなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆公共施設の在り方

町内の公共施設は、昭和40年から50年代にかけて整備されており、今後20年で、建設後50年を経過する施設が増えてきます。そのため、効率的・計画的な施設の維持管理や更新等が求められることから、町民の意見を聴きながら、公共施設の在り方に関して検討を進めます。

安全、保護者・団体・関係機関、施設管理、個人情報等の「7つの危機管理」を経営のキーワードに据えて、基礎学力の定着を図る取り組みの強化と道徳教育の充実、健康な体づくりの推進を図り、中高一貫教育に係る連携と小・中・高の接続を推し進め、「チームえりも」で全町上げて学校教育の充実に努めます。

◆小・中学校教育

(1)基本学力を身に付ける教育活動

子どもたちには、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、課題を解決できる思考力、判断力、表現力等を育み、学校と家庭が車の両輪と

なつて教育活動を推進していくことが必要です。

平成25年度の成果として、町教育向上対策委員会を中心に小・中・高が「授業改善と家庭学習改善」の取り組みが行われ、その結果、全町的な機運が高まり組織的な取組が始まっています。

本年度は、このような成果を踏まえ、教育向上対策委員会に連動した検証改善サイクルが見える学校改善プランを策定させ、4つの方策「①学習規律の最低基準の設定、②板書に整合したノート指導、③「定着」の段階を位置付けた指導過程、④積極的な他校との研修」を重視して授業改善を図るよう指導し、えりも小学校の道教委指定「学校力向上事業」を柱とした小学校一体となった校内研究の充実や、放課後や長期休業中の学習サポート等、授業力の向上と家庭学習の習慣化を図っていきます。

また、えりも中学校では、生徒一人一人の習熟の程度に応じた指導や協力教授による指導、準入学選抜試験に向けた数値目標を定めた取り組み等を行い、基礎学力の定着を目指します。

なお、えりも小学校はじめ3校に、3名の学校支援員を配置し、学

習サポートや学校運営の支援を図るなど、指導体制の充実に努めます。

(2)豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

学校では、子どもたちが規範意識や思いやる心等を育む上で、道徳教育を充実することが大切で、また、社会問題となっている「いじめ」については、「人間として絶対に許されない」という強い意識を育てるため、きめ細かな児童生徒理解や児童生徒との日々のコミュニケーションを大切にして子どもと向き合い、小さなサインも敏感に受け止め、組織的・機動的な早期発見、早期対応を図ることが重要です。

本町は、平成25年の成果として、生徒指導の取り組みについて町内一丸となつて進められる体制が確立し、いじめの解決や体罰の禁止に結びついてきたことなどが上げられます。

本年度は、引き続きアンケート調査や教育相談を行い、「私たちの道徳」を生かした道徳の授業の充実を図り、道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進体制の充実や、学校間の情報交換等を柱にした生徒指導連絡協議会、地域の青少年育成協議会の活動、「いじめ根絶標語」や「生活リズムムチャク」運動等とおして、組織の強化を一層図り「い

じめゼロ、体罰ゼロの学校」を目指します。

次に、健やかな体を育む健康と体力については、体育の指導の充実、子どもの生活習慣や運動習慣を身に付ける活動や健康を守る環境づくりを一層充実させることが大切で、平成25年度は、学校において、体力では継続した中距離走や長縄とび等、健康では町内全小学校でのフツ化物洗口等、安全では津波や地震を想定した避難訓練等を実施しています。

本年度は、「体力向上プラン」による1校1実践、新体力テストの実施と授業での活用、フツ化物洗口等を推進し、防犯・薬物乱用防止等の教室の実施や防災体制の対応につい



昨年9月に行われた笛舞小マラソン記録会

て、全町一丸となつて取り組みを推進することに力を入れていきます。

(3)児童生徒の自立を目指す特別支援教育

平成25年度は、町の就学指導委員会や東部地区就学指導委員会の定期的な話し合いや新冠判官館での他校との交流学习等が行われています。

本年度は、笛舞小学校を除く全小学校とえりも中学校に特別支援学級が設置され、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」によるきめ細かな指導となるよう指導し、町内の児童生徒の実態を把握しながら支援や指導体制の充実、関係機関との連携を図ります。

◆高等学校教育の充実

(1)進路実現を目指す教育活動

えりも高校では、平成25年度の進路状況において、各種の内定率は就職が100%、進学が96.3%であり、また部活動加入71.1%、全道大会進出2部等、大きな成果を上げています。

本年度は、習熟度に応じた少人数指導や課外講習、定期考査前補習、目標に応じたキャリア教育等の充実を図るとともに、部活動の活性化を図り、元気のある学舎づくりに努めます。

また、本町の豊かな自然や産業に

目を向けた活動や地域の教材を生かした教育活動にも引き続き力を入れて生きます。

(3) 自国と他国の文化等のよさを実感でき海外研修

本町において「えりも高校ならではの教育事業」となっている大韓民国への研修は、平成25年度は生徒31名が参加して実施され、韓国と日本の歴史学習や残留日本人との交流等を通じて、日本や韓国の文化等のよさを学ぶ機会となっています。

本年度も引き続き、その意義を深めながら目的を明確にした研修となるよう、計画・実施したいと考えています。

◆ 中高一貫教育の充実と小・中・高の接続

本町の連携型中高一貫教育も11年目となり、平成25年度は、キャリア教育をはじめ環境教育等の取組が行われていますが、本年度も引き続き、教職員の乗入れ授業や進路連携のキャリア教育、「百人浜に学ぶ」環境教育等、教育課程に位置付けた中・高の連携を図る取組を進め、小・中・高の接続で、英語・漢字・数学検定を一層進め、小・中・高を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実や、町学校教育研究会を中心に授業交流や研究協議を進めるな

ど、学びの連続性を重視した取組を一層推進します。

◆ 信頼される学校づくりの推進

学校が地域から信頼されるためには、「やるべきこと」をしっかりとやる」学校体制を確立し、保護者や地域住民との信頼の絆に満ちた学校経営の推進を図ることが重要です。

本町では、平成25年度は、研修を深める指導主事訪問や、交通安全、体罰禁止、セクシャルハラスメントの誓い、いわゆる「KTSの誓い」等、教育公務員としての資質向上や法令遵守の徹底を図り、子どもの手本となる教職員の姿がみられ、本年度は、引き続き、各学校が学校経営上の積極的な「7つの危機管理」を見据えて、「KTSの誓い」、服務・勤務の徹底を図り、積極的な指導主事訪問の要請や「開かれた学校」を推進し、地域、町民から信頼される学校づくりを進める指導や助言していきます。

社会教育の推進

◆ 社会教育推進の基本姿勢

社会教育では、町民一人ひとりが充実した豊かな生活を送るため、町民憲章の具現化を目指す「まちづくり」運動を柱とし、生涯を通じて積極的に学ぶ環境づくりが求められ、

少子高齢化や社会の急激な変化により、地域力の衰退が懸念される中、地域を担う人づくりを推進することが重要です。

このことを踏まえ、社会教育に役立つ資源を十分生かし、地域人材の活用を積極的に進める施策を展開し、事業等の企画、運営の工夫・改善を図ります。

◆ 社会教育活動の充実

第5次社会教育中期計画を基に、町民がいつでも、どこでも学び続けられるよう、生涯学習推進協議会を中心として各関係団体と連携を図り、多様な学習機会の提供に努めます。

本年度は、町民が健康で豊かな生



放課後児童クラブに通う子どもたち

活を送るため、生涯を通じて学び、その成果が生かされる環境づくりを進め、主体的に活動ができるよう支援していきます。

また、平成24年度に開設した「放課後児童クラブ」については、登録者数30名を超え、働く町民への支援の事業となってきましたが、本年度で3年目となり、今後の在り方についても検討していきます。

◆ 芸術文化の振興

社会の急激な変化が進む中、近年、物質的な豊かさよりも、住民が心豊かに生きることができる地域社会の形成が強く求められ、地域に根差した文化活動の振興や子供から大人までがより豊かな芸術文化に触れ、身近な活動から実践することができる環境の整備が課題となっています。

平成25年度は、青少年等を対象とした舞台芸術の鑑賞会や、町民が気軽に楽しむことができる古典芸能等の鑑賞の機会、その他、各文化サークルや団体等が芸術文化を発表する機会を設けるなど、一層工夫して文化活動を進めました。

本年度は、各団体や文化サークルに対する一層の支援を図り、多くの方々が文化を体験していただく機会を創出するよう努めます。

◆地域文化の継承

本町の歴史・文化・自然など、地域のオリジナリティーについて学び理解することは、故郷への郷土愛を育み、地域活性化にも大きな役割を果たすものと考えています。

現在、郷土資料館では、えりも町指定文化財「猿留山道」、国指定文化財「名勝ピリカノカ襟裳岬」の保全と活用を進めています。

本年度は、郷土資料館の教育施設としての機能を一層充実させるため、地域の学習資源の調査を実施し、学校教育や町民、観光客等にその情報を提供します。

文化財の保護・活用では、町指定文化財「猿留山道」について関係機



一石一字塔について学ぶ参加者

関と連絡調整を進め、国指定文化財史跡の登録を目指し、町内67か所が登録されている埋蔵文化財保全に努めます。

郷土芸能である町指定無形文化財「えりも駒踊り」や「襟裳神楽」は、すでに保存会によって後継者育成に尽力いただいています。教育委員会としても継続して支援します。

◆スポーツの振興

町民一人ひとりが心身ともに健康な生活を送るため、町民の交流を促し健康を維持増進のため、スポーツに親しむ環境づくりが大切で、平成25年度は、各スポーツ関係団体や指導者と連携を図りながら、体幹トレーニング教室や少年団の指導者講習会を開催し、指導者の養成を推進しました。

本年度は、関係団体と一層連携を図り、スポーツ情報の提供を行い、スポーツ教室の開催や新しいスポーツの普及に努めます。

事務局業務の推進

◆学校教育課業務について

平成25年度の教育委員会評価では、夜間業務の縮減やスクールバス運行、教育扶助及び就学援助業務など、全体的に委員会の姿勢を高く評価いただいています。

本年度は、平成25年度の評価結果を踏まえて、地方教育費調査や教科書及び教育用備品に関する業務等、業務推進について一層迅速、適切に行っていきます。

◆社会教育課業務について

平成25年度の教育委員会評価では、幼児教育や青少年問題、文化財の保護、郷土芸能の伝承・育成、ス

ポーツ活動の安全対策等、各種事業において概ね高い評価をいただいています。

本年度は、平成25年度の評価結果と課題を踏まえて、生涯学習の推進体制の整備や学校施設を利用した開放講座、関係団体の業務等、見直しと具体的な方策を検討し推進していきたいと考えています。

「議会報告会～議員と語る会」開催のお知らせ

昨年に引き続き、各地区を町議会議員が訪問し、議会の内容や活動等を報告する「議会報告会」を開催します。

町民みなさんからの意見や要望についてもお伺いし、町政の発展につなげたいと思っています。

ご来場を心よりお待ちしております。

日	時	場 所	担当班
4/21(月)	18:30～	近浦多目的集會施設	1
〃	〃	笛舞ふれあい館	3
4/22(火)	〃	歌別生活館	3
〃	〃	庶野生活館	1
4/23(水)	〃	西えりも生活館	2
〃	〃	東洋生活館	3
〃	〃	目黒生活館	1
4/24(木)	〃	福祉センター老人室	2
4/25(金)	〃	えりも岬林業総合センター	2

班	担 当 班
1	石川議運委員長・大坂議員・笹谷議員
2	渡部議長・川村議員・手塚議員・近藤議員
3	成田副議長・上野議員・平野議員・高松議員

Town News

—まちの便り—



アイヌ協会えりも支部による古式舞踊体験

アイヌ文化や歴史を学ぶ

2月21日

町教育委員会主催の「ピリカノカ 襟裳岬 オンネエンルム シンポジウム」が福祉センターで開かれ、約60人が参加しました。

シンポジウムは、アイヌ文化や歴史を学び、道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課の田才正彦主査は「これからのピリカノカを知ってもらうためにも、ツアー等の取り組みが必要です」と話しました。

また、アイヌ協会えりも支部の会員によるアイヌ料理体験や古式舞踊体験が行われました。

3月3日

各小学校へ地域貢献活動を行う

町内の青年イベントグループ祭本舗・風舞（岩間典明代表）が、えりも小学校（金澤覚校長・児童176人）を訪れ、バスケットボール6個を寄贈しました。

この日、岩間代表と幌岩崇史副代表の2人は、全校朝会の中で、寄贈の趣旨を述べて大平絵梨児童会会長へバスケットボールを手渡し、大平会長は「大事に使います」と感謝の言葉を述べました。

同グループは、イベントで出店した利益を、町内の小学校5校へ備品など総額10万円相当を寄贈しました。



岩間代表より寄贈品を受け取る大平児童会会長



道教育長賞を受け取った菊地さん

道税の力で、みんなが笑顔に

3月4日

えりも中学校（平野秀一校長）で、道主催の「第28回全道中学生の税をテーマにしたポスター募集」で、管内からただ1人、菊地唯さん（2年）が道教育委員会教育長賞を受賞し、斉藤実希さん（2年）が日高振興局長賞を受賞しました。

この日、日高振興局の竹縄維章地域政策部長が同校を訪れ、菊地さんへ賞状と副賞、入選ポスターのレプリカを手渡しました。

菊地さんは「道税の力で、みんなが笑顔になれることを期待してデザインしました」と話しました。

3月5日

カルシウムを摂取し骨を丈夫に

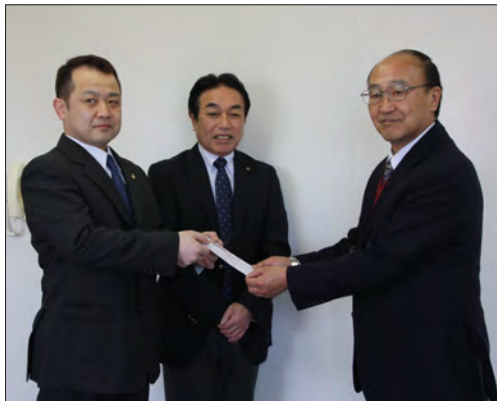
町保健福祉課主催の「栄養教室～カルシウムで丈夫な骨づくり～」が役場集団指導室で開かれ、28人が参加しました。

毎年、この時期に開催しており、柳栄養士が栄養講話の中で、健康な骨の役割や加齢、女性ホルモン減少による骨量減少を伝え、食事から効果的な摂取の仕方を説明しました。

また、保健師による骨密度測定や町食生活改善推進員協議会による手軽に取れるカルシウム料理の試食も行われ、柳栄養士は「普段の食事で、1つでもカルシウムのある食べ物を摂取してください」と参加者へ呼びかけました。



カルシウムの必要性を学ぶ参加者



田中会長から寄付金を受け取る鍵谷施設長

施設の役に立ちたいと思い

3月6日

えりもロータリークラブ（田中照彦会長）が、特別養護老人ホームやまと苑（鍵谷俊一施設長）へチャリティーオークションの収益金一部を寄付しました。

この日、田中会長と築紫富美雄社会奉仕委員長が同苑を訪れ、鍵谷施設長へ寄付の趣旨を述べた後、寄付金を手渡しました。

同クラブは、毎年1月に会員・会員家族らが衣類などを持ち寄り、オークションを開き、その収益金の一部を毎年、同苑へ寄付を行っています。

3月16日

バンドの生演奏を堪能する

町内の青年イベントグループ祭本舗・風舞（岩間典明代表）主催の「チャリティーライブ」が福祉センター開かれ、観客130人が音楽を楽しみました。

ライブは、轟CARNIVAL（岩間代表）と四十歳の地図（上野陽司代表）の2バンドが「湘南My Love」などを演奏し、会場を盛り上げました。

なお、チャリティーライブでの募金や販売されたジュースなどの収益は、すべて、特別養護老人ホームやまと苑へ寄付されます。



生演奏で会場を盛り上げるバンドメンバー



北村局長より、賞状を受け取る岡本校長

日高教育実践表彰に2校が選ばれる

3月18日

日高教育局（北村善春局長）が、平成25年度日高管内教育実践表彰で、笛舞小学校（田中淳一校長）とえりも岬小学校（岡本仁校長）を訪れ、表彰授与式を行いました。

笛舞小は、算数指導の工夫改善と地域と一体となった教育活動、岬小は、学習意欲の向上を図る指導方法と地域文化の継承が評価され、表彰されました。

北村局長は、岬小の児童へ「みなさんが、地域の人たちが、昔から大事にしてきた郷土を守り、勉強を頑張ったことによって表彰されました」と表彰の経緯を伝えました。

東日本大震災から復興までの活動を語る

岩手県陸前高田市の老舗業者が講演

3月18日(火)福祉センターで、町生涯学習推進協議会(高橋祐之会長)主催による「生涯学習講演会」及び「食育体験実習」が行われました。

講演会は、岩手県陸前高田市で200年以上続く醤油醸造蔵、株式会社八木澤商店の河野和義会長を招き、「ふるさとは負けない。一つ、生きること・一つ、ともに暮らし学ぶ・一つ、人間らしく魅力的に」と題し、震災前・震災後の写真や映像を取り入れながら、地域に密着した3年間の復興活動について、お話しいただきました。

また、この日は生涯学習講演会とコラボレーション企画として「食育体験実習」も行われました。

講師に、フードコーディネーターの松田真枝さんを招き、食材にえりも町産のタラ・フノリを使用し、味付けに八木澤商店の醤油を使用したイタリア風料理など5品を教えてくださいました。



講師を務めた河野会長

生涯学習だより

理想の身体を目指すために

2月18日・25日、3月11日(火)福祉センターで、町生涯学習講座「まなびの広場健康講座第2弾」が行われました。

町教育委員会・鍵谷尊徳上級主事の指導の下、様々なポーズで深層筋(インナーマッスル)を鍛え理想の身体を目指す「ピラティスエクササイズ」と、簡単な動作で色々な筋肉に刺激を入れ引き締まった身体を目指す「マッスルアップエクササイズ」を行いました。

参加者は1つ1つの動きのポイントを抑えながら、真剣に取り組んでいました。



一つ一つの動きに真剣に取り組む参加者

巧みなドリブルで相手をかかわす

3月16日(日)町民体育館で、町サッカー協会(植木美範会長)主催の「町民フットサル大会」が開催されました。

大会にはえりも・様似・浦河から7チームが出場しました。

フットサルは1チーム5人の室内で行われるサッカーです。素早いパス回しや華麗なボールさばきで相手をかかわし、強烈なシュートが決まると、ギャラリーからは大きな歓声が沸き上がっていました。

結果はえりも高校サッカー部が優勝しました。



激しい競り合いの中で相手をかかわす

新しい本

図書室だより

《おすすめ本》

スコールの夜 芦崎 笙 著

平成元年に東大法学部を卒業、都市銀行トップの帝都銀行に女性総合職一期生として入行した吉沢環が女性初の本店管理職に抜擢された。担当任務は、総会屋・暴力団への利益供与や不祥事隠しの役割を担ってきた子会社の解体と退職勧奨の陣頭指揮。保守的な企業風土による女性への偏見や差別に耐えての昇進を意気に感じ、荒療治に乗り出すが、周囲の感情的な反発を招き、経営幹部の派閥抗争に巻き込まれていく。第5回日経小説大賞受賞。



《一般書》

- 代理処罰／嶋中 潤
- ペテロの葬列／宮部 みゆき
- うまいぞ！シカ肉／松井 賢一
- ゼロから理解する食肉の基本／西村 敏英／監修
- 初めての人でもよくわる庭づくり／安行造園株式会社／監修
- 北海道発ONLY ONEの家づくり
新築&リフォーム Vol. 9／北海道新聞社
- 暮らしが変わるリフォーム&リノベーションの
事例集／ギャップ・ジャパン

《児童書》

- 奇跡の一本松 大津波をのりこえて／なかだ えり
- 動物おもしろ実験クイズ／学研教育出版
- おしりたんてい ププッチいさなしょちょうの
だいピンチ！？／トルロ
- 忍たま乱太郎 にんじゅつ学園となぞの女の段
／尼子 騒兵衛
- わたし小学生まじょ／中島 和子
- まじょ子と黒ネコのケーキやさん／藤 真知子
- はじめてでもおどれる！ストリートダンス入門
／小学館
- なぞなぞ1年2年生大百科！ おもしろたっぷり！
／平目 きらり

熱戦が続いたミニバレー大会

3月2日(日)町民体育館で、町教育委員会主催の「第33回町民ミニバレーボール大会」が行われ、18チーム約80人の町民が参加しました。

大会は、男子・女子・男女混合の3種別で地区ごとにチームを編成し、予選リーグ戦・決勝トーナメント方式で行われました。

会場は選手の珍プレー・ファインプレーに大きな歓声が飛び交っていました。

「町民ミニバレーボール大会」の結果

種別	優勝	準優勝	第3位
男子の部	ファンタスティックベイバー (本町B)	歌別B (歌別)	銀聖 (本町A)
女子の部	ウィンナーズ (笛舞)	H♡A 古海宏樹	ポークピッツ (本町B)
男女混合の部	綾鷹 (本町B)	WORST (えりも岬)	庶野B (庶野)



手に汗握る攻防が続いた試合

自分の体力を把握する

2月22日(土)町民体育館で、町スポーツ少年団本部(藤井孝介本部長)主催の「町スポーツ少年団体力テスト・交流会」が行われました。

ジュニア期にある団員たちの体力を測定し、一人ひとりの体力を把握することと、少年団員の交流を深めることを目的として行われ、町内のスポーツ少年団員82人と指導者8人の90人が参加しました。

団員たちは腕立て伏せ・上体起こし・立ち幅跳び・時間往復走の4種目にチャレンジし、自分の弱点や得意な動きを実感していました。

交流会では、ドッジボールを楽しみました。

冬季の体力づくりとしてドッジボールに取り組んでいる新栄野球少年団が圧倒的な強さを見せていました。

昭和46年広報紙で見る町の歩み

消防力を増強、佐々木町政がスタート

花田町長は昭和46年の年頭所感で、襟裳道立自然公園を国定公園に昇格、栽培漁業サブセンターと、道立サケマス孵化場支場の誘致、通年保育所の開設、消防力の充実などの懸案事業の実現に努めると述べました。

国道を通過していた国鉄バスのダイヤ改正で、上歌別地区から歌別小とえりも中に通学していた児童・生徒43人が1時間以上も早く登校を余儀なくされたことから、町は初めてスクールバスを3学期から、同区間に運行しました。

自動車の普及で、町内でも交通事故が多発したことから、2月に初の「交通安全町民研究大会」を開催して安全対策を協議しました。2月には、2年以上医師不在だった道立庶野診療所に、藤堂与二医師が着任して同地区町民が安堵しました。

4月から、浦河・様似・えりも3町で国の支援を受けて消防組合を設立し、えりも支署は7人の署員が10人に増員され、消防力の充実に向かいました。4月の町議会議員選挙で20人が当選し、初議会で高橋栄二氏が議長に再選されました。

8月の第2回えりも観光港まつりには、歌謡曲「襟裳岬」を歌った島倉千代子さん、作詞家・丘灯至夫さん、作曲家・遠藤美さんを招いて、襟裳岬で歌碑の除幕式を行いました。

国民年金制度が始まって10年目の9月、年金を10年間納め続けてた町民4人に初めて、月額5千円の年金支給が始まりました。10月には、庶野中水産クラブが学校の簡易プールで、アクアラングの使い方を水産改良普及員から指導を受けました。

10月に、観音山裏側に北大の地殻変動観測所が完成して北大の職員が常駐。12月には町長選挙が行われ、佐々木隆人氏が当選して第4代町長に就任しました。本町に初の常設保育所（定員120人）が完成しました。



襟裳岬での歌碑除幕式

えりもMUSEUM しりょうかん

えりも町指定文化財 猿留山道（その2）

～開削年の記録から

江戸時代、寛政11年（1799）に造られたばかりの猿留山道を谷元旦が歩いています。谷は幕府が蝦夷地の薬草調査を命じた渋江長伯に随行した画家です。往路は海岸線を歩き、復路は山道を歩いています。ここでは復路の様子を紹介します。

「8月18日サルル（目黒）からショウヤウヤ（庶野）まで、（略）谷川を3回越えて、山道につながる。高山を越えて山が続きトウノホリという山に着く、トウノホリ山はとても高く、道はまた曲がりくねり険しい、山間に沼があり、沼の周囲には高い山が囲み、水の色は藍を染めたようである。形は細長く四角形の大きな沼である。（略）しばらくして山頂に着く、汗も服も乾いているが水がない、泉がない、幸いにアイヌの子供が樽を背負って登っていたので、水かと尋ねると、水だと言う。お金を与え、ようやく玉露のような水を各々が飲んで勢いを得て、山を下った。（略）川に

沿って下り、新道（猿留山道のこと）を切り開いている小屋がある。水白（水力を用いる白）を水辺に見る。」

一行は、翌日再び山道に入り幌泉（えりも）に宿泊、次の日、様似山道を越え様似に到着。

谷は「ああ自然の道理を極められず、人は険しさに悩み、また泉の水は新たに元気を得る。一つの苦しい想いを、にわかにも嘆くが、大声で、わずかに気がかりなことを忘れ、四句（人生の四つの苦痛、生・老・病・死）を出して山の神に礼を言った」と猿留山道様似山道の開削と通行の印象を漢文に残しています。



えりもと広尾の間の海岸線を歩く様子
蝦夷紀行付図（拡大・市立函館図書館蔵）

春の火災予防運動が始まります!!

「消すまでは心の警報ONのまま」を全国統一防火標語に掲げ、4月20日から30日までの11日間、春の火災予防運動が実施されます。

この運動は、町民の皆さんに火災予防の意識を高めていただくことにより、火災の発生・拡大を未然に防止し、尊い生命と貴重な財産を火災から守ることを目的としています。

季節が冬から春へと移り変わるこの時期は、空気が非常に乾燥し、火災が発生しやすく、出火した際には大火になりやすい傾向にあります。

身のまわりで起きている火災のほとんどは火を

取り扱う人のちょっとした不注意や油断が原因で発生していますので、火気管理には十分注意し、出火防止に努めてください。

消防えりも支署では、火災予防啓発の一環として、期間中、毎日12時5分に町内全地区一斉に防災無線のサイレンを吹鳴します。

●お問い合わせ先
消防えりも支署
☎2-2038



防災 情報版 ④

えりも町の災害文化

災害を繰り返し経験してきた地域社会には、災害への備えから復興までにわたり、災害に関する知恵や教訓、生活習慣などの「災害文化」が生まれ、引き継がれると言われています。

えりも町はこれまで、繰り返し津波の被害を受けてきました。

昭和と三陸津波の後には、庶野地区とえりも岬地区に2つの津波石碑が作られました。これらの石碑は地震学者今村明恒の提唱で東京朝日新聞に寄せられた義捐金を元に、三陸沿岸を中心に各地に設置されたものです。この石碑の形や文言にはいくつかのパターンがあり、私が調べた範囲では、えりも町にある石碑は青森県に残されているものとよく似ています。えりも町の石碑には「地震海鳴りそら津波」と書いてありますが、三沢市をはじめ、青森県に残されている石碑には「地震海鳴りほら津波」とあります。どちらも、地震の後には津波に用心せよ、という教えを伝えていきます。ちり津波のように地震を感じずに津波が来る場合もあります。石碑の文言は、先人の体験に基づく「災害文化」のひとつです。

昨年、えりも岬地区では、この石碑の説明を含めた、津波に関するプリントが配られたり、小学校の運動会の挨拶の中で津波に関する講話がなされたりしたと伺っています。そういった活動は、えりも町の「災害文化」を伝え、次の災害に備え

るために、とても大切な活動です。また、町内各地で東日本大震災後に地域や組織の防災について話し合わせ、約束事を決めたりしたと伺っています。

それらも、過去の災害に学び、次に生かす新たな「災害文化」であり、今後もぜひ引き継いでいただきたいと願っています。

平成23年5月号より始まった、このコラムも4年目を迎えました。

私自身は3月末をもって北海道大学の任期が終了したため、本コラムは今回で卒業となります。

この3年間、えりも町に通うたびに色々な方々にお世話になってきました。本当にありがとうございました。

これからも、えりも町の「災害文化」を始め、みなさまに教えていただいたことも生かしながら、各地の防災・減災のお手伝いをしていきたいと考えています。

地震火山研究観測センター共々、今後もしっかりとお願いいたします。



定池 祐季

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター・特任助教。北海道大学地震火山研究観測センター・招へい教員、博士(文学)。北海道防災会議委員。北海道南西沖地震を奥尻島で経験したことをきっかけとして、各地で防災教育、復興支援に携わっている。

こんにちはは保健師です

★楽しく、真剣に★

がん予防

2月2日(日)にえりも町女性大会が開催され、札幌医科大学医学部の森満教授による「がんを予防する」と題した講演を行いましたので、その内容をご紹介します。

『人ががんになる理由』

私たちの体の中では、毎日、古い細胞が壊れ、新しい細胞が作られています。しかし、老化や喫煙、化学物質、放射線など様々な原因で、変異した細胞が生まれてしまうことがあります。この細胞が数十年かけて増殖したものが、がん細胞と考えられています。

本来、私たちは生まれながらにして、体の中で発生したがんなどの異物を無害化することができる免疫力を持っていません。がんを予防するためには、この免疫力を低下させないことが重要になってきます。

『楽しく気楽に免疫力アップ』

老化という自然現象によっても、免疫力は低下します。しかし、若々しい身体を保つような生活習慣を心がけ、楽しいと思うよ

うなことを、できる限りたくさんすることによって免疫力は高まり、がんの発症年齢を遅らせることができるということです。

理想的な食事は和食であり、えりも町の特産品である昆布には、抗がん作用・免疫力を高める成分が含まれているということも紹介されました。

『真剣に取り組もう、がん予防』
最後に森教授は、がんを他人事と思わず、がん情報に注視すること、万が一、がんになったときも医師任せにしないことが重要であると述べられていました。

【がん予防のための生活習慣】

- 禁煙：他人のタバコの煙も避ける
- 飲酒：飲むなら節度のある飲酒
- 食事はバランスよく（和食が理想的）
塩分や肉は摂りすぎない、野菜は多めを心がける
- 日常生活を活動的に過ごす、適度な運動
- 適正な体重の維持（太りすぎない・やせすぎない）
- ストレスをためない・生きがいのある生活
- 睡眠（1日7時間前後）・休養
- 感染対策：肝炎ウイルスの感染の有無を知る



春のがん検診の申込受付中です。
詳しくは、今月号の広報折込チラシでご確認ください。

4月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
二種混合予防接種	3日(木)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
	24日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)
日赤巡回診療	9日(水)、23日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
風の子ひろば (育児サークル)	11日(金)、25日(金)	10:00~11:30	福祉センター
乳幼児健診	15日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)
肝がん検診 (※①)	19日(土)	8:00~15:00	保健センター (要予約)
特定健診・がん健診	22日(火)	6:00~7:30	庶野生活館 (要予約)
		9:00~9:15	目黒生活館 (要予約)
	23日(水)	6:00~7:30	林業センター (要予約)
	24日(木)	6:00~10:45	保健センター (要予約)
	25日(金)	6:00~9:00	保健センター (要予約)
三種混合予防接種	24日(木)	13:50~14:00	保健センター (要予約)
B C G 予防接種			
不活化ポリオ予防接種			
ヒブワクチン予防接種			
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種			
四種混合予防接種	24日(木)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
麻しん・風しん混合予防接種	5月1日(木)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合の個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜 (2日前まで予約)
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
小児科外来にお申し込みください。

●町立診療所

麻しん風しん混合・二種混合の予防接種
前週の金曜日までに保健予防係へお申し込みください。

※ 保健センターの予防接種は予約が必要です。

※ 特定健診・がん検診は、予約を満たしていない時間帯があります。
ご希望の方は検診前日までお申し込みできますので、お問い合わせください。

※① 肝がん検診の予約先は、
肝がん検診団事務局へ直接
お申し込みください。

受付：火曜日～金曜日
☎011-350-1008



♥ご厚志に感謝します

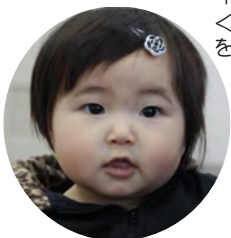
- 四ツ谷 敏 博さん (新浜)
 新浜自治会へ 30,000円
 新浜老人クラブへ 20,000円
- 叶 内 豊さん (えりも岬)
 やまと苑へ 50,000円
 えりも岬連合自治会へ 50,000円
- 鈴木 千秋さん (本町)
 本町自治会へ 50,000円
 本町自治会婦人部へ 30,000円
- えりもロータリークラブ (本町)
 えりも福祉会へ 50,000円
- 吉井 まりさん (えりも岬)
 襟裳神楽保存会へ 20,000円
 えりも岬連合自治会へ 50,000円
- 飯田 隆典さん (本町)
 柏台自治会へ 50,000円
- 創価学会えりも支部青年部
 やまと苑へ
 フェイスタオル、ウエス等ダンボール9箱分

あつまれ！一歳児



すくのび

「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。



いいだめい
飯田芽生ちゃん
(直宏・都味)

H25.4.7生(えりも岬)
イチゴ大好き♡わが家のアイドルです!!



かぎやけんせい
鍵谷舷惺くん
(尊徳・優子)

H25.4.22生(本町)
ふなっしーが大好き!!いつも元気に遊んでいます!

(えりも吟社)

生きている証しの如く木の葉髪

人生の上がりさがりや寒明ける

きりきりと切り裂くような寒の朝

口紅の色にも春の気配あり

玻璃透る小春日和の空の紺

三ヶ日過ぎれば老婆一人なり

曾田つゆ子

長岡 青風

手塚 澄子

石森美恵子

蛭名 渚

川村 和子

弁護士相談センター無料相談 (事前予約制)

会場	日程	時間
えりも相談所 (保健センター)	4/15・5/20	13:15 ~ 16:15
様似相談所	4/8・5/13	
浦河相談所	4/1・5/7	
静内相談所	4/2・7・9・14・16・21・23・28・30 5/7・12・14・19・21・26・28	13:30 ~ 16:30
予約受付	月曜日~金曜日 / 10:00~16:00 ☎0146-42-8373	

子育てテレホンサービス ☎2-3715

- 3/24~ 4/ 3 思いやりのある子どもに育てる
- 4/ 4~ 4/10 「我慢する心」の育て方
- 4/11~ 4/17 「思いやりの心」について考える
- 4/18~ 4/24 「感動する心」について
- 4/25~ 5/ 1 しつけは「し」の付く年齢までに

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

国民年金の免除申請対象期間が拡大

国民年金は、所得が少ないときや失業等により保険料を納付することが経済的に困難な場合、保険料の免除を申請することができます。

平成26年4月からは、過去2年1か月分の免除申請ができるようになります。

これまでは、過去分の国民年金保険料の免除（※）が受けられる期間は、申請の直前の7月（学生納付特例は直前4月）までの1年以内でした。

平成26年4月からは、申請時点の2年1か月前の月分まで申請ができるようになります。

※「免除」とは、全額免除、一部免除（3/4、半額、1/4）、若年者納付猶予、学生納付特例のことです。

●失業などの特例免除の対象期間も拡大されます

○災害・失業などを理由とした免除（特例免除といいます）は、これまでは、申請時点の年度または前年度に災害・失業などの理由があることが条件となっていました。

○平成26年4月からは、災害・失業などの前月から災害・失業などがあった年の翌々年6月までの期間について、特例免除の申請ができるようになります（平成26年3月以前にあった災害・失業も対象となりますが、過去分の審査対象期間は、2年1か月前までです）。

●申請方法は

年金事務所又は役場に申請してください。

必要な添付書類など、詳しくは、下記の申請先までお問い合わせください。

●ご注意ください

○2年1か月前の月分まで免除申請することができますが、申請が遅れると万一の際に障害年金などを受け取れない場合や失業などの特例免除が受けられない場合がありますので、すみやかに申請してください。

○申請期間に対応する前年所得に基づき、審査を行いますので、免除が承認されない場合があります。

なお、全額免除と一部免除は配偶者及び世帯主、若年納付猶予は配偶者についても所得審査を行います。配偶者や世帯主が失業などに該当する場合も免除を受けられる場合があります。

●お問い合わせ先

苫小牧年金事務所 ☎0144-56-9002
役場町民生活課年金係 ☎2-4621

土地・家屋の評価額のご確認を

固定資産税の納税者が所有する土地や家屋の評価額を他の方と比較できる「固定資産税の縦覧制度」を実施しています。

●縦覧期間 4月2日～5月30日

●縦覧場所及びお問い合わせ先

役場税務課課税係 ☎2-4620

高校生かふえを行います

襟裳岬「風の館」で、えりも高校風の館プロジェクトの生徒による地場産の灯台ツブを使ったツブガーリックトーストなどを販売する「高校生かふえ」を下記の日程で行います。

●日時 4月26日 10時～15時

●場所 襟裳岬「風の館」

●お問い合わせ先

襟裳岬「風の館」 ☎3-1133

警察官を募集しています！

平成26年度第1回北海道警察官採用試験の申込受付が始まりました。

●採用予定人員

A区分	男性	165人	B区分	男性	60人
	女性	35人		女性	15人

●受験資格

・昭和57年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方

・A区分…大学（短期大学を除く）等を卒業した方

※平成27年3月卒業見込者を含む

・B区分…A区分以外の方

※高等学校に在学中の者を除く

●受付期間

4月1日から4月16日

※電子申請の場合は、4月11日17時30分まで

●第1次試験の日程

5月11日

※申込書やパンフレットは、浦河警察署で交付しています。疑問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

浦河警察署警務係 ☎0146-22-0110



お知らせ



火入れを行う前に…

これからの季節は、枯れ草や枝木の火入れを行う機会が増える時期となります。

火入れの際は、事前に消防署へ届け出てから実施してください。(※火入れの煙を火事と間違え、消防署に通報が来る場合があります。)

また、家庭用ごみ等の野外焼却は、煙や悪臭により周囲の住人に迷惑をかけるだけでなく、ダイオキシン等の有害物質が発生し、健康被害の原因にもなりますので、やめるようにしましょう。

互いに生活のルールを守り、快適な環境づくりを心がけましょう。

◇火入れ時の注意点!!

- 風が強くなった場合は中止する。
- 火入れ場所から離れない。(目を離さない)
- 消火器具(消火器、水バケツ等)を準備する。
- 後片付けをしっかりと行う。

●お問い合わせ先

消防えりも支署 ☎2-2038

確定申告書の内容を間違っていたとき

提出した確定申告書に計算誤りや申告漏れなど申告内容に誤りがあることに気付いた方や、うっかり確定申告書の提出を忘れていた方はいませんか。

もう一度ご確認ください。

税額を多く申告していたことに気付いたときは、「更正の請求書」を提出して正しい税額への訂正を求めることができます。

税額を少なく申告したことに気付いたときは、「修正申告書」を提出して正しい税額に修正してください。

また、確定申告書を提出しなければならないのに提出を忘れていたときは、速やかに確定申告書を提出してください。

●お問い合わせ先

浦河税務署 ☎0146-22-4131

「ういず」の巡回相談

障がい者支援事業所「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。

一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

●4月の巡回相談日時 4月21日 10時～正午

●お問い合わせ先

〒057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

☎0146-22-6246 (FAX兼用)

E-メール uizu@u-kouyouen.jp

陸上自衛隊第7師団記念行事

陸上自衛隊第7師団創隊59周年・東千歳駐屯創立60周年記念行事が下記のとおり行われます。

●日時 5月25日 8時～15時

●場所 東千歳駐屯地(千歳市祝梅1016)

※当日は、JR千歳駅より、無料シャトルバスを運行します。

●内容 日本最大級の戦車等パレード等

●お問い合わせ先

第7師団司令部総務課広報渉外班

☎0123-23-5131 内線2247、2136

人のうごき

(平成26年2月28日現在)

近 浦	171人	67世帯
笛 舞	283人	116世帯
大 和	978人	429世帯
本 町	918人	407世帯
新 浜	710人	307世帯
歌 別	341人	132世帯
東 洋	378人	131世帯
えりも岬	544人	209世帯
庶 野	716人	274世帯
目 黒	150人	76世帯
合 計	5,189人	2,148世帯
	(男 2,588人 女 2,601人)	
転 入	0人	転 出 6人
出 生	0人	死 亡 8人

町立診療所・庶野診療所の診療表



		月	火	水	木	金
			4/1	4/2	4/3	4/4
町立	内科		検査日	○	○	○
	外科		○	○	午前のみ	休診
	小児科		○	○	○	午前のみ
庶野診			○	○	○	○
		4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
町立	内科	13時から	検査日	休診	休診	休診
	外科	○	○	○	午前のみ	○
	小児科	○	○	○	○	午前のみ
庶野診		○	○	○	○	午前のみ
		4/14	4/15	4/16	4/17	4/18
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	13時から	○	○	午前のみ	午前のみ
	小児科	○	○	○	○	○
庶野診		休診	13～15時医師不在	13～15時医師不在	○	○
		4/21	4/22	4/23	4/24	4/25
町立	内科	○	検査日	○	○	○
	外科	○	○	○	午前のみ	午前のみ
	小児科	13時から	○	○	○	午前のみ
庶野診		○	○	○	○	午前のみ
		4/28	4/29	4/30	5/1	5/2
町立	内科	13時から	休診	○	○	午前のみ
	外科	○		○	午前のみ	○
	小児科	○		○	午前のみ	午前のみ
庶野診		休診		○	○	午前のみ
		5/5	5/6	5/7	5/8	5/9
町立	内科	休診	休診	○	○	午前のみ
	外科			○	午前のみ	午前のみ
	小児科			○	○	○
庶野診				15時から診察	○	○

○印は午前・午後とも診察

● 受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分
庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分

町立診療所

- ①4/7・28の内科、4/14の外科、4/21の小児科の診察は、13時からとなります。
- ②4/3午後～4の外科は、医師学会出席のため、休診となります。
- ③4/9～11の内科は、医師学会出席のため、休診となります。
- ④下記の日は、学校健診・乳幼児予防接種のため、午後からの診察は15時30分からとなります。(内科4/14・16、外科4/21・28、小児科4/24・5/8)

庶野診療所

- ①4/14・28は休診です。
- ②4/11・25・5/2は午後から休診です。
- ③5/7は15時からの診療となります。
- ④4/15・16は、13時から15時医師不在となります。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。
ご了承ください。

4月の行事

29日	27日	26日	20日	9日	8日	7日	6日	4日	3日
スポーツ公園オープン(9時～)	温水プールオープン(13時～)	ツ公園(9時～)	第4回えりもに祭り(スポーツ公園)	百人浜オートキャンプ場オープン(10時～)	百人浜パークゴルフ場オープン(9時～)	交通安全車両パレード(近浦)	目黒(14時～)	交通安全安全運動(～15日まで)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				一般14時～15時	式(えりも中学校・えりも高校入学式)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		中央保育所入所式(9時30分)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				運動免許更新講習(福祉センター)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		春の全国交通安全運動(～15日まで)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				りも小11時)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		中央保育所入所式(9時30分)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				りも小11時)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		春の全国交通安全運動(～15日まで)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				りも小11時)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		中央保育所入所式(9時30分)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				りも小11時)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		春の全国交通安全運動(～15日まで)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)
				りも小11時)	りも小11時)	交通安全安全鈴配布(えりも小学校)		中央保育所入所式(9時30分)	えりも岬保育所・庶野保育所入所式(えりも岬保育所9時30分)

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成26年4月2日